

～ Build28 版 ピックアップ ～

今回ご提供させていただきます『Build28』について、Build27 から変更/追加された内容のうち、ポイントとなる項目をピックアップし、各システムに分けてご紹介いたします。なお、仕様変更など重要な項目も含まれておりますので、必ずご確認していただきますようお願い致します。

・ピックアップポイント 1/2

システム	NO	区分	概要	ページ
全般	①	追加	居宅介護支援経過等から業務日誌の取込を行う際、日誌を選択取込できるよう対応いたしました。また取込済みの業務日誌を再取込する事も可能です。	3
	②	変更	居宅介護支援経過/介護予防支援経過記録/居宅サービス記録の各帳票様式(標準様式、オリジナル様式)にて、「時間」の記載欄を追加いたしました。 (注意)帳票レイアウトを変更しております。	4
	③	変更	利用料金の単価に「小数点」の設定ができるようになりました。	6
	④	変更	基本サービスに依存せず管理可能な算定項目の単独算定に「金額」を直接入力できる算定区分を追加いたしました。単独算定の管理画面より、利用料金項目の「金額」を直接入力することができます。	7
	⑤	変更	利用料金項目に集計期間を変更できる「集計区分」を追加いたしました。集計区分の追加により、利用料金の前払い分(翌月/翌々月)を「定期処理」より集計できるようになりました。	9
	⑥	変更	月間スケジュールを各々のシステムにおいて、自動作成した場合、算定区分が”単独算定”である利用料金(算定項目)が削除されないように対応しました。	11
居宅介護支援	⑦	追加	MDS-HC2.0 のアセスメント項目に「R.アセスメントへの参加」と「S.薬物治療調査票」を追加いたしました。	12
訪問介護	⑧	変更	ヘルパー情報を共通化し、「ヘルパースケジュール管理」や「賃金計算」を「介護」と「予防」で分けずに運用することができるようになりました。 i) 詳細については、以下の資料をご参照下さい。 ⇒別途資料「補足資料/運用グループについて.pdf」をご参照下さい。 ii) 運用グループの統合を行なう場合は、以下の資料をご参照下さい。 ⇒別途資料「補足資料/運用グループ統合手順.pdf」をご参照下さい。	13
	⑨	変更	ヘルパーの賃金計算ロジックを、以下のように変更いたしました。 [変更 I] 提供した介護内容とは別に、ヘルパーの実働内容を設定できるよう対応 [変更 II] 提供時間範囲外の実働時間を設定した場合でも賃金計算できるよう対応	16

・ピックアップポイント 2/2

システム	NO	区分	概要	ページ
施設サービス	⑩	追加	アセスメントや施設サービス計画書等の作成業務を利用者一覧表示でモニタできる業務状況モニタを追加いたしました。	22
利用者請求	⑪	追加	<p>拡張カテゴリの初期マスタに「利用者負担額集計」を追加致しました。初期マスタを取り込むことで、拡張カテゴリが自動設定され、利用料金集計表にて介護費(利用者一部負担金)等を集計する事ができます。</p> <p>※Build26 にて対応した「拡張カテゴリ」の設定例を後日公開予定とさせて頂いておりますが、拡張カテゴリに「利用者負担額集計」の初期マスタを取り込む機能で対応させて頂きます。</p>	23
	⑫	追加	前回利用料金集計を行った「ご利用内容」を、明細単位で当月に複写する機能を追加いたしました。	25
	⑬	追加	請求書一覧印刷に「利用者別請求入金一覧」帳票を追加いたしました。	26
	⑭	追加	請求書／領収書発行時に連絡事項の一括設定が行なえるようになりました。	27
	⑮	変更	<p>利用者請求書/領収書に以下の記載内容を設定できる項目を追加いたしました。</p> <p>I.集計期間表示/非表示の設定</p> <p>II.集計期間表現方法の設定</p> <p>III.内税額表示関連項目の表示/非表示の設定</p>	28
口座振替	⑯	変更	<p>複数の「請求グループ」を「口座振替グループ」にまとめる事が出来るようにし、口座振替処理を一括で行なえるように対応致しました。</p> <p>i) 詳細については、以下の資料をご参照下さい。</p> <p>⇒別途資料「運用マニュアル/口座振替(Build28 対応).pdf」をご参照下さい。</p> <p>ii) 口座振替グループの統合を行なう場合は、以下の資料をご参照下さい。</p> <p>⇒別途資料「補足資料/口座振替グループ統合手順.pdf」をご参照下さい。</p>	30

①業務日誌取り込み機能の強化

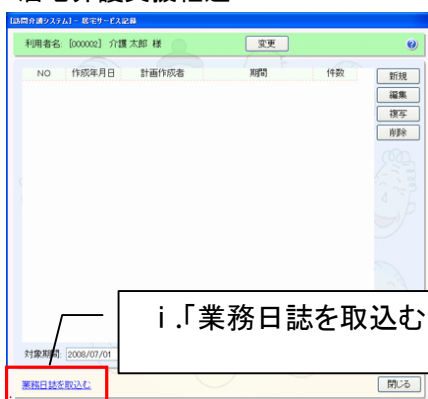
⇒【各システム】 居宅介護支援経過／介護予防支援経過記録／居宅サービス記録／施設介護経過（※）

ポイント!

居宅介護支援経過等から業務日誌の取込を行う際、日誌を選択取込できるよう対応いたしました。また取込済みの業務日誌を再取込する事も可能です。

※業務モニタ画面で業務日誌を取り込む場合は、すべての当該利用者の未取込分が対象になります。

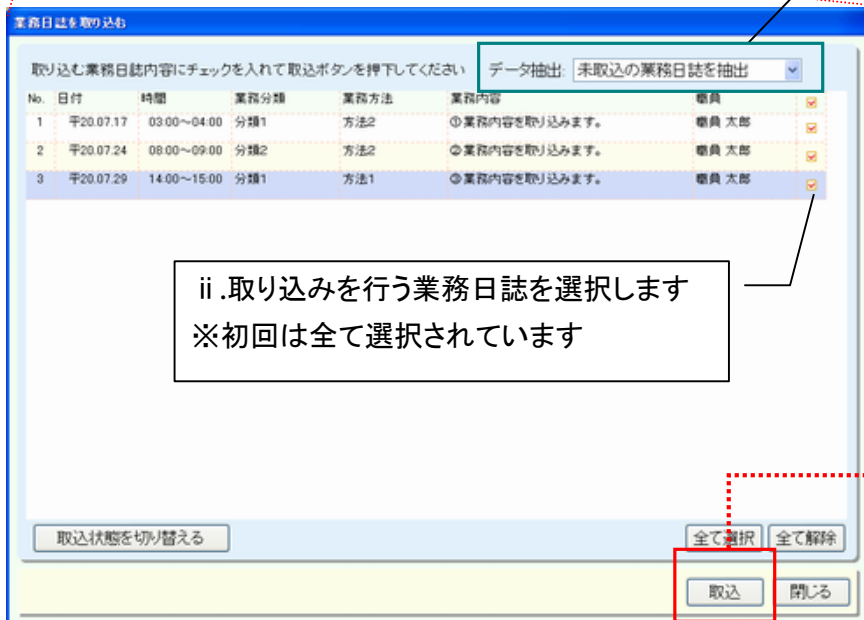
・居宅介護支援経過



【※各システムの業務日誌取込画面】

- ・居宅介護支援->モニタリング->居宅介護支援経過
- ・介護予防支援->モニタリング->介護予防支援経過記録
- ・訪問介護+>サービス利用者->居宅サービス記録
- ・通所介護+>モニタリング->居宅サービス記録
- ・福祉用具貸与+>サービス利用者->居宅サービス記録
- ・居宅サービス+>モニタリング->居宅サービス記録
- ・施設サービス->モニタリング->施設介護経過

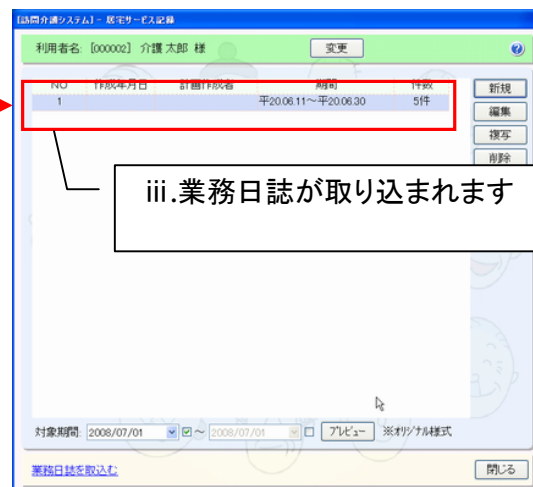
i.「業務日誌を取込む」を押下します



ii.取り込みを行う業務日誌を選択します
※初回は全て選択されています

初期値は「未取込の業務日誌を抽出」が
選択されています。

※取込済みの日誌を再取込する場合
「取込済みの業務日誌を抽出」を選択する
ことで、既に取り込済みの業務日誌を再取
込することができます。



iii.業務日誌が取り込まれます

[メモ]

業務日誌取り込みが行われると、業務日誌側で
取込済みの状態(※)に変わります。

※業務日誌の設定画面の「他システムで取込み」にチェックが入ります。

②第6表(支援経過や居宅サービス記録等)の帳票様式を変更

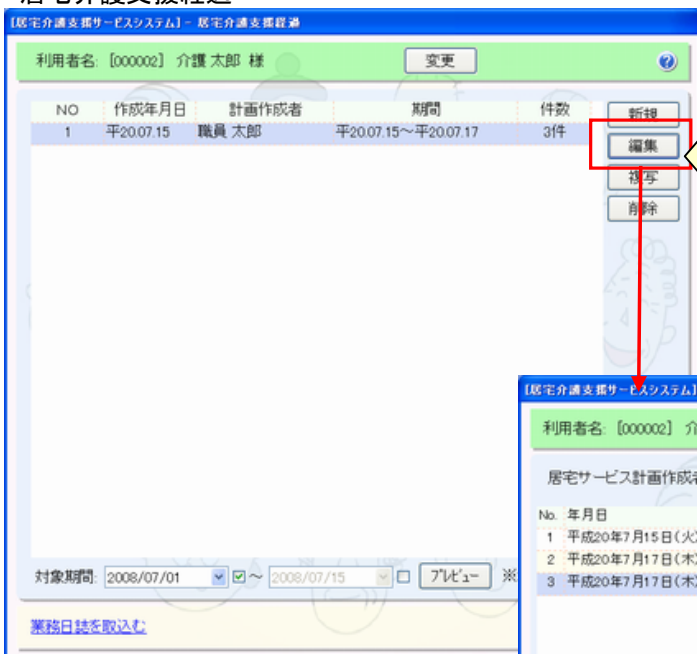
⇒【各システム】 居宅介護支援経過／介護予防支援経過記録／居宅サービス記録／施設介護経過 (※)

ポイント!

居宅介護支援経過／介護予防支援経過記録(通常版)／居宅サービス記録の各帳票様式(標準様式、オリジナル様式)にて、「時間」の記載欄を追加いたしました。それに伴い、帳票様式の選択項目を変更しております。

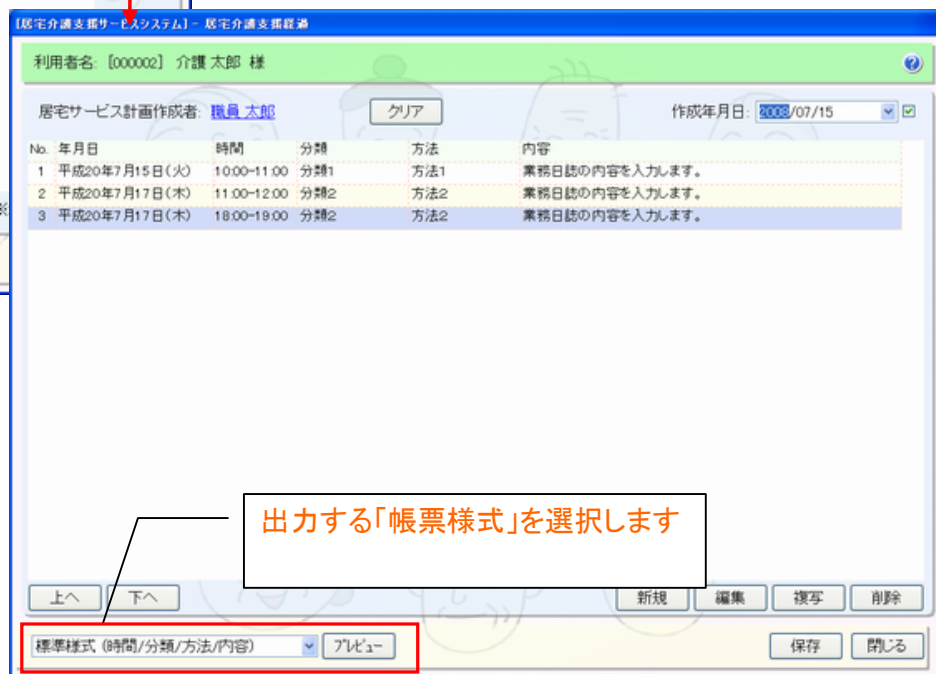
(注意)帳票レイアウトを変更しております。

・居宅介護支援経過



【※各システムの出力画面】

- ・居宅介護(介護予防)支援->モニタリング->支援経過
- ・介護予防支援->モニタリング->介護予防支援経過記録
- ・訪問介護+->サービス利用者->居宅サービス記録
- ・通所介護+->モニタリング->居宅サービス記録
- ・福祉用具貸与+->サービス利用者->居宅サービス記録
- ・居宅サービス+->モニタリング->居宅サービス記録
- ・施設サービス->モニタリング->施設介護経過



・選択できる帳票様式

NO	帳票様式	内容
①	標準様式(内容)	従来タイプの様式です。年月日、内容の書式が「明朝体」に変更されます
②	標準様式(時間/分類/方法/内容)	①標準様式(内容)に「時間/分類/方法」の記載欄が追加されます
③	オリジナル	従来タイプの様式に「時間」の記載欄が追加されます

③利用料金の単価設定にて「小数点」に対応

⇒【メニュー】 基本情報 -> 事業者 -> 利用料金

ポイント!

利用料金の単価に「小数点」の設定ができるようになりました。

小数点第3位までの入力が可能になっており、設定を行った場合は端数処理方法の指定を行います。

・利用料金の設定

「小数点設定」で設定した区分に応じて
小数点の単価設定が行えます

小数第1～3位までの表示区分を
選択し、端数処理方法を指定します

【メニュー】 基本情報->事業者->利用料金

端数処理のタイミング

<<ご利用内容内訳>>

ご利用内容	期間/日	単価	数量	保険対象内	保
特定施設生活介護1	7月分	5,490 円	31日		
[地域加算]					
(介護サービス費 小計)					
縮め対象月+1	8月分	100 円	31		3,100 円
サービス提供年月	7月分	100 円	31		3,100 円
少数点単価		100.3 円	5		502 円
(その他 小計)					(6,702 円)

利用料金の明細単位で端数処理が行な
われます。
単価(100.3 円) × 数量(5) = 501.5
端数処理方法: 四捨五入で「502 円」

利用者請求書サンプル

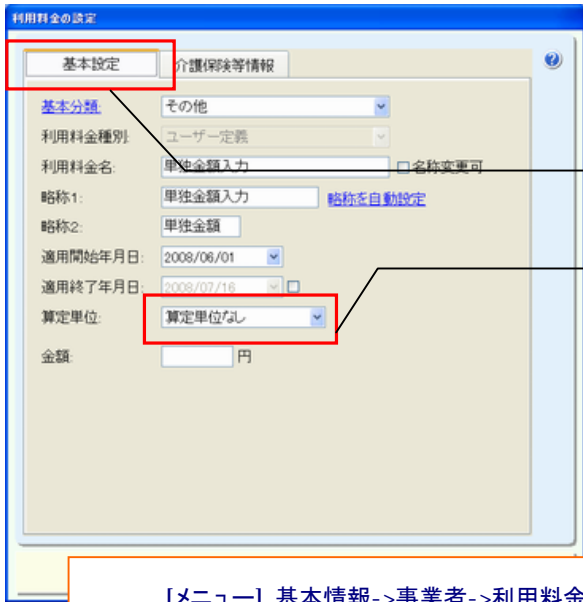
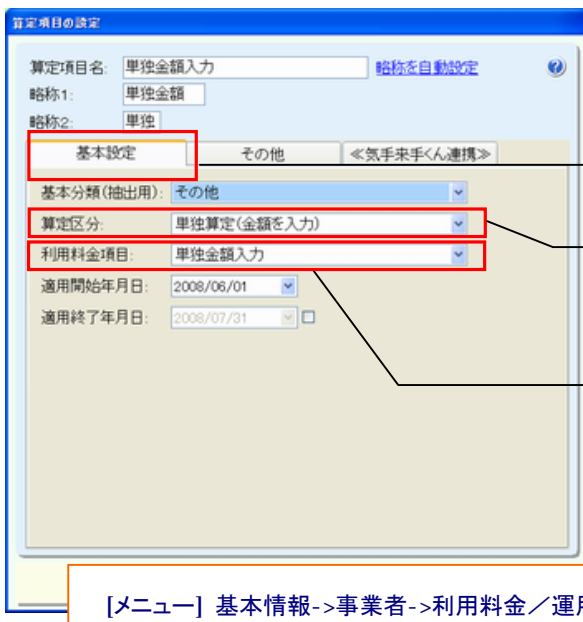
④算定項目の単独算定に「金額」を直接入力できる算定区分を追加

⇒【メニュー】基本情報 -> 事業者 -> 利用料金・利用料金/運用設定

ポイント!

基本サービスに依存せず管理可能な算定項目の単独算定に「金額」を直接入力できる算定区分を追加いたしました。
単独算定の管理画面より、利用料金項目の「金額」を直接入力することができます。

金額入力を行なう場合、以下の手順に沿って利用料金マスタを登録する必要があります。

I	 <p>[メニュー] 基本情報->事業者->利用料金</p>	<p>[設定内容]</p> <p>I.【利用料金】より設定項目の「算定単位」で「算定単位なし」を選択します。</p> <p>i.基本設定タブを選択します</p> <p>ii.「算定単位なし」を選択します</p>
II	 <p>[メニュー] 基本情報->事業者->利用料金/運用設定</p>	<p>[設定内容]</p> <p>II.【利用料金/運用設定】より設定項目の「算定区分」で「単独算定(金額を入力)」を選択します。</p> <p>i.基本設定タブを選択します</p> <p>ii.算定区分にて「単独算定(金額を入力)」を選択します</p> <p>iii.(I - ii)より「算定項目なし」で設定された利用料金項目を選択します</p> <p>[注意]</p> <p><u>【利用料金】にて「算定単位なし」で設定した、利用料金項目のみ選択することができます。</u></p>

◆金額入力画面

【施設サービスシステム】- 月間管理実績

利用者名: [000007] 施設 介護1 様 [変更] 前月 平成20年08月 次月

カレンダー① カレンダー② **利用料金** 集計情報

区分	期間	設定内容①	設定内容②	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	計
利用	平20.06.01~	33老人ホーム4		金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	00
状況		33有..																																	
計画	平20.06.24~	43.居宅支援 ケアマネ																																	00
作成																																			
	平20.06.24~	46.予防支援 予防ケアマネ																																	00
担当	平20.06.25~	44444444	有料老人ホーム																																00
ケアマネ		職員 太郎																																	
要介	平20.06.01~	要1	福岡市																																1年
認定	平21.06.17	新規認定																																	17日

データ処理: カーソル位置の値を右方向へ複写

利用料金名 設定値 1 2 3 4 5 6 7 8 計

朝食	《数量》	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	28	
昼食	《数量》	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	28	
夕食	《数量》	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	26	
単独金額入力	《金額》	100																																	400

金額入力可能な利用料金項目の場合、設定値に「金額」が表示されます

対象日のセルに「金額」を直接入力します

利用者別 月間管理画面

【施設サービスシステム】- 月間管理実績

フリガナ: 利用者ID: 性別: (設定しなし) 前月 平成20年08月 次月

地域: (設定しなし) 利用区分: (設定しなし) 表示順: フリガナ

担当者: (設定しなし) 検索区分: (設定しなし) 抽出

算定項目: ● 単独金額入力 "金額"を入力してください 入力後のセル移動方向: ↓ 下方向

No.	利用者	性別	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	計	
1	000002	介護 太郎	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	0	
2	000007	施設 介護1																																	0
3	000006	施設 介護2	100																																0
4	000005	施設 介護3																																	0
5	000004	施設 介護4																																	0
6	000001	施設 介護5																																	0
7	0000078	施設 介護P																																0	
8	000009	施設 月途中																																0	
9	000008	施設 認定なし																																0	

金額入力可能な算定項目を選択すると、「金額を入力してください」のメッセージが表示されます

対象日のセルに「金額」を直接入力します

単独算定画面

⑤利用料金項目に集計期間を変更できる「集計区分」を追加

⇒【メニュー】基本情報 -> 事業者 -> 利用料金

ポイント!

利用料金項目に集計期間を変更できる「集計区分」を追加いたしました。集計区分の追加により、利用料金の前払い分(翌月 / 翌々月)を「定期処理」より集計できるようになりました。

※新しく請求書に「集計期間」を表示できるようになりました。「集計期間」には当画面で設定した「集計期間区分」を基に期間が表示されます。詳細については【ピックアップNO⑮請求書記載項目の追加】をご参照下さい。

・利用料金の設定

【メニュー】基本情報->事業者->利用料金

集計区分を選択します
 ※初期設定値は「サービス提供年月」になります。
 ※「設定しない」は利用料金運用設定(利用料金算定項目、定期処理)では使用できません。利用者請求システムにて手入力する項目となります。

(例) 6月提供分で集計区分を設定した場合

集計区分	集計期間	説明
サービス提供年月	6/1~6/30	サービス提供月の期間で集計されます。利用料金集計では、保険者請求の一部負担金に依存した取込みになります。※月遅れ請求の場合も集計対象となります。
締め対象月	6/1~6/30	利用料金集計を行った締め対象月の期間で集計されます。※月遅れ請求の場合は、当該サービス提供年月が締め対象月の範囲外となる為、集計されません。
締め日	5/21~6/20	締め日を 20 日に設定した場合、前月 21~20 日までの期間で集計されます(※)。
翌月分の前払い	7/1~7/31	利用料金集計を行った締め対象月の翌月分で集計されます。
翌々月分の前払い	8/1~8/31	利用料金集計を行った締め対象月の翌々月分で集計されます。

※注意 当バージョンより利用者請求の「締め日」を指定できるようになっておりますが、運用を行うにあたりいくつか注意事項がございます。「締め日」の変更を行われる場合は弊社までご相談下さい。

例: 定期処理の運用例 (8月提供分+9月前払い分の利用者請求を行った場合)

・利用料金/運用設定画面

定期処理に以下の利用料金項目を関連付けます

利用料金項目	集計期間分
締め対象月+1	翌月分の前払い
サービス提供年月	サービス提供年月

締め対象月8月で利用料金集計を行うと、以下数量が取り込まれます。

利用料金項目	数量
締め対象月+1	締め対象月に「+1」された“9月”の月日数である「30日」が取り込まれます
サービス提供年月	サービス提供年月である“8月”の月日数である「31日」が取り込まれます

利用料金集計画面

・請求書サンプル

請求書に「集計期間」が表示できるようになりました。詳細は、[ピックアップ NO ⑮請求書記載項目の追加](#)をご参照下さい

提供年月8月の請求書記載内容(※)

利用料金項目	期間/日	数量
締め対象月+1	9月分	30日
サービス提供年月	8月分	31日

⑥月間スケジュールの自動作成後、単独算定の利用料金が削除されないよう変更

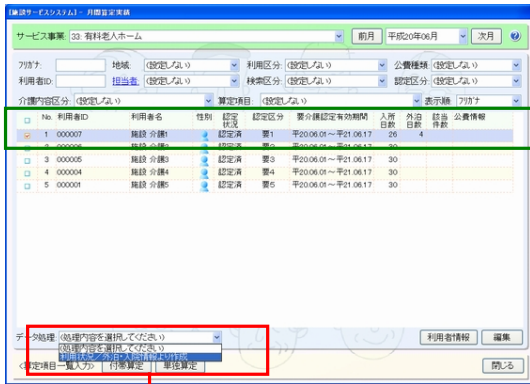
- ⇒【メニュー】施設サービス -> 月間算定実績 -> 月間算定実績
- ⇒【メニュー】訪問介護+、訪問入浴介護+ -> 月間スケジュール -> 月間スケジュール管理
- ⇒【メニュー】通所介護+、通所リハビリ+ -> 月間スケジュール -> 月間スケジュール管理

ポイント!

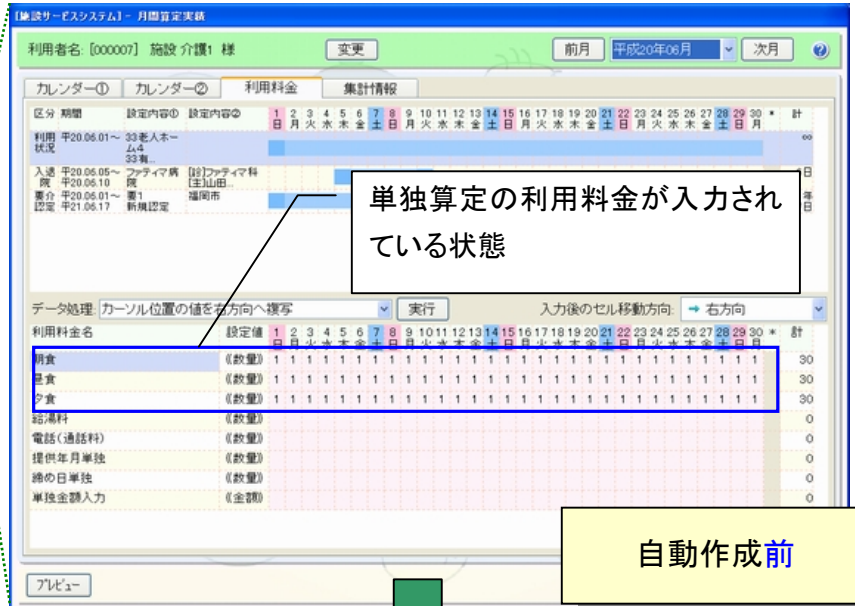
月間スケジュールを各々のシステムにおいて、自動作成(※)した場合、算定区分が”単独算定”である利用料金(算定項目)が削除されないように対応しました。

※「週間スケジュールからの展開」、「居宅介護支援システムからの予定取込」、「利用状況/外泊・入院情報より作成」

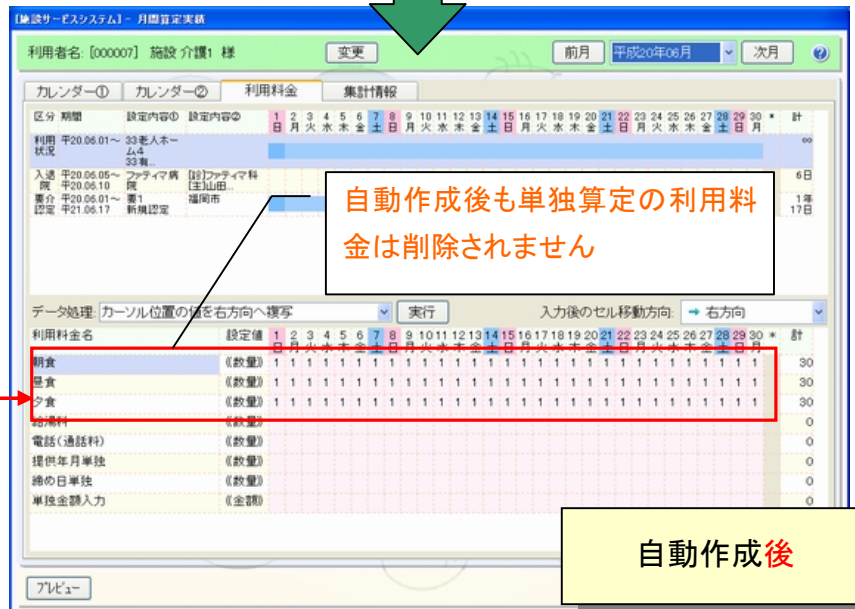
例: 月間算定実績(施設サービス)



利用状況/外泊・
入院情報より作成



自動作成前



自動作成後

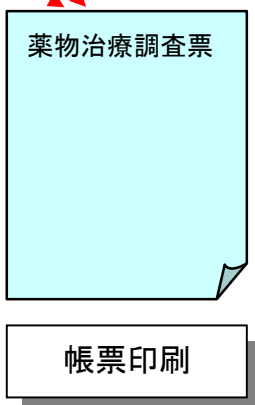
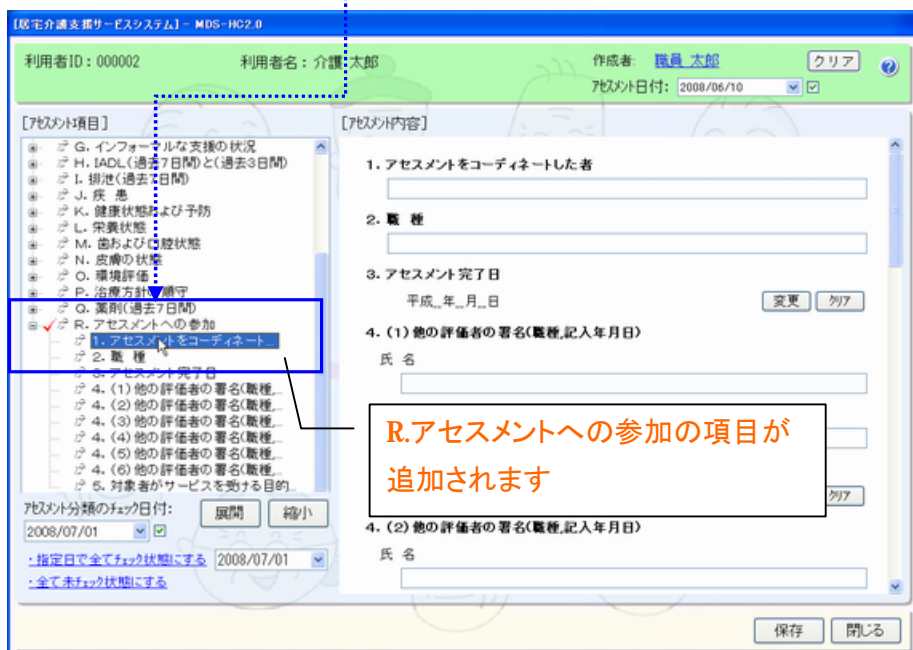
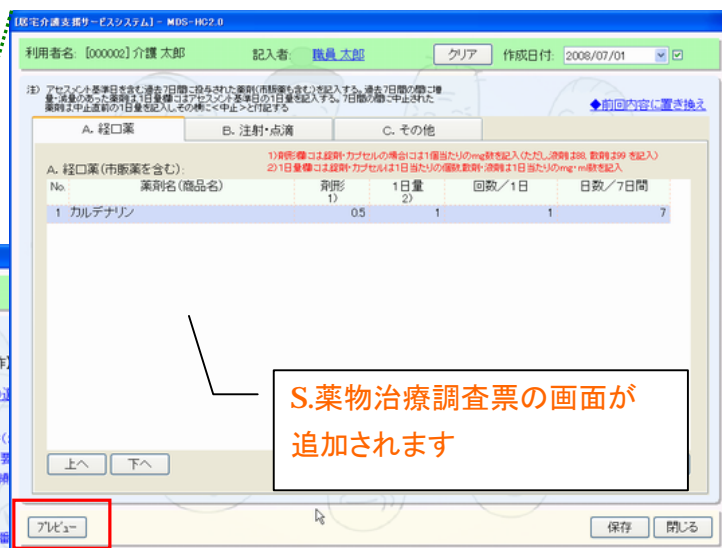
⑦MDS-HC2.0 の「R」と「S」のアセスメント項目を追加

⇒【メニュー】 居宅介護支援 -> アセスメント -> MDS-HC2.0

ポイント!

MDS-HC2.0 のアセスメント項目に「R.アセスメントへの参加」と「S.薬物治療調査票」を追加いたしました。

・MDS-HC2.0



⑧ヘルパー情報の共通化

⇒【メニュー】訪問介護+ -> サービス提供者 -> 運用グループ

ポイント!

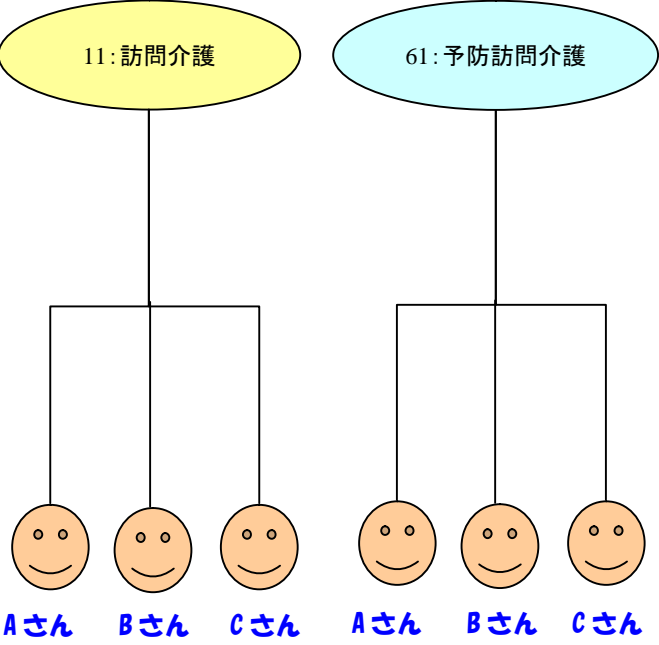
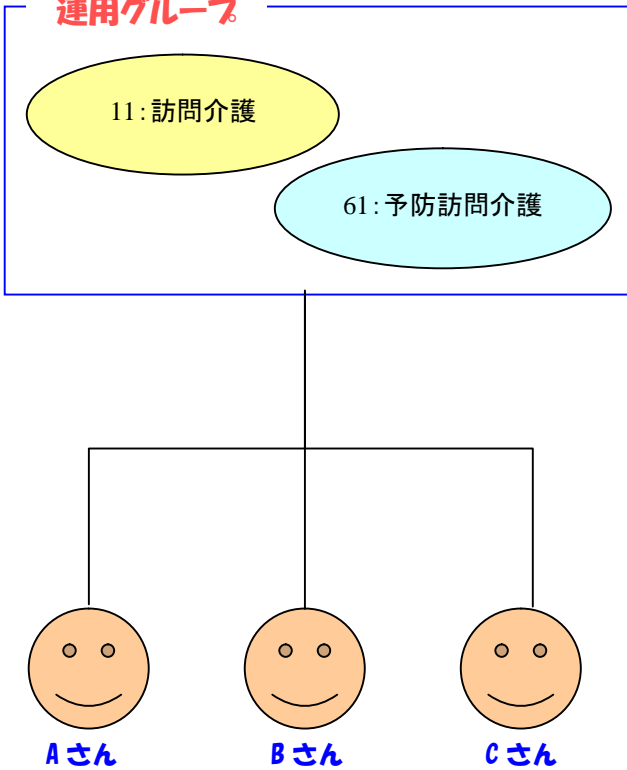
従来のシステムでは、ヘルパー情報をサービス事業別に登録していた為、ヘルパーの割り当てや賃金計算についても別々に管理する必要がありました。そこで今回、複数のサービス事業を統合する「運用グループ」を追加することで、ヘルパー情報を共通化し、ヘルパー割り当て、賃金計算を分けずに運用することができるようになりました。

i) 詳細については、以下の資料をご参照下さい。

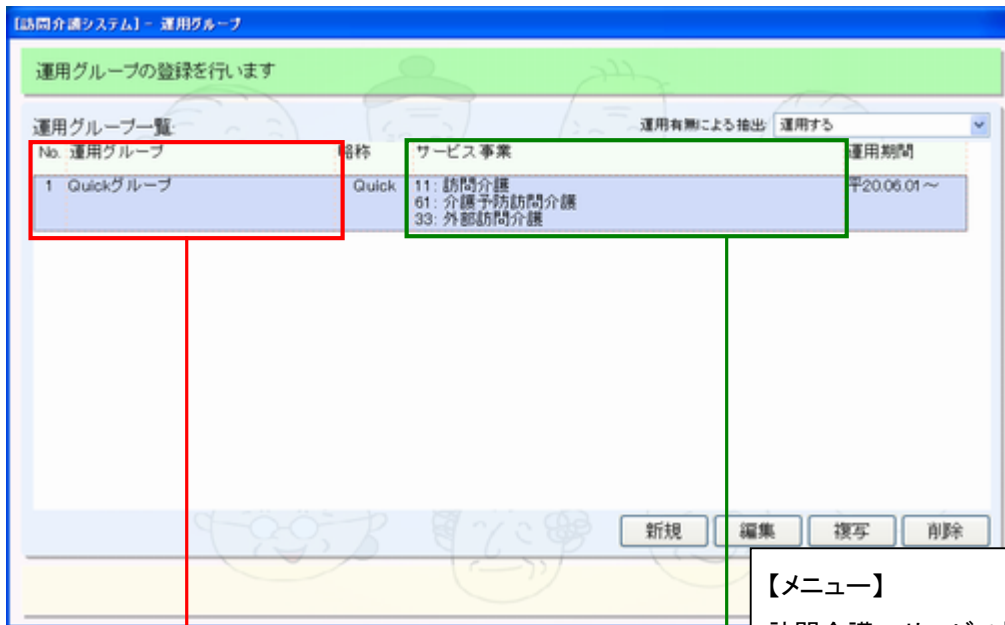
⇒別途資料「補足資料／運用グループについて.pdf」をご参照下さい。

ii) 運用グループの統合を行なう場合は、以下の資料をご参照下さい。

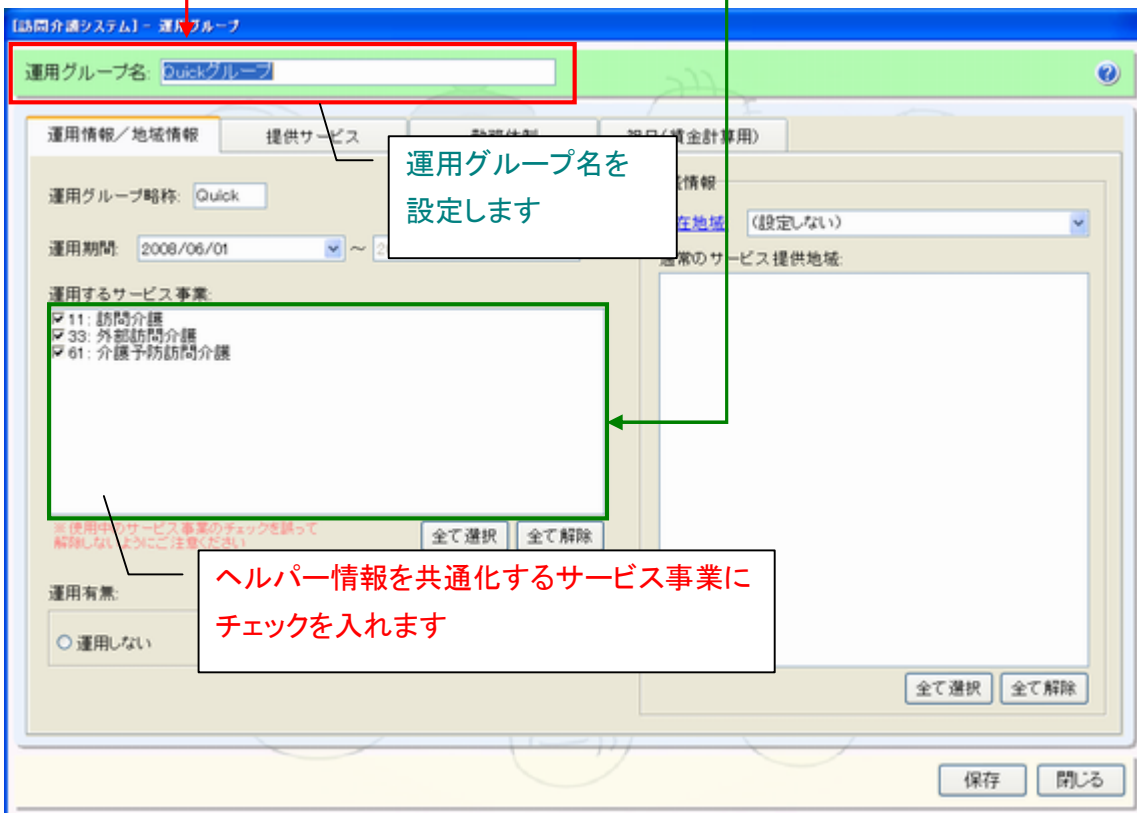
⇒別途資料「補足資料／運用グループ統合手順.pdf」をご参照下さい。

従来のヘルパー情報管理	新しいヘルパー情報管理
 <p>従来のヘルパー情報管理の図解: 2つのサービス事業（11: 訪問介護、61: 予防訪問介護）があり、それぞれにヘルパー（Aさん、Bさん、Cさん）が割り当てられている。</p>	 <p>新しいヘルパー情報管理の図解: 複数のサービス事業を「運用グループ」に統合し、ヘルパー（Aさん、Bさん、Cさん）を直接登録して運用されている。</p>
<p>【従来の運用では…】</p> <p>サービス事業別にヘルパーを登録する必要があり、ヘルパーの割り当てや賃金計算は、各サービス事業に切り替えて、運用する必要がありました。</p>	<p>【新しい運用では…】</p> <p>複数のサービス事業を「運用グループ」に統合し、「運用グループ」に直接ヘルパーを登録することで、ヘルパーの割り当てや賃金計算を各サービス事業に切り替える事なく運用できるようになりました。</p>

・運用グループの設定画面



【メニュー】
訪問介護->サービス提供者->運用グループ



運用グループ名を
設定します

ヘルパー情報を共通化するサービス事業に
チェックを入れます

◇ヘルパー関連画面

・ヘルパースケジュール管理画面

【訪問介護システム】ヘルパースケジュール管理

運用グループ: Quick

運用グループで管理を行います

実行

No.	日付	利用者名	サービス 事業略称	予定時間	サービス内容(予)	担当ヘルパー(予)	担当 区分	実績 状況	実績時間	サービス内容(実)	担当ヘルパー(実)	担当 区分	実績時間	賃金
1	2(月)	介護 太郎	11:訪介護	06:00-08:00	11-5212 (710) 身体2生活2・夜朝	ヘルパー 花子		○	06:00-08:00	11-5212 (710) 身体2生活2・夜朝	ヘルパー 花子		06:00-08:00	○
2	5(木)	介護 太郎	11:訪介護	06:00-08:00	11-1412 (834) 身体介護4・夜朝	ヘルパー 花子		○	06:00-08:00	11-1412 (834) 身体介護4・夜朝	ヘルパー 花子		06:00-08:00	○
3	17(火)	介護 太郎	11:訪介護	06:00-08:00	11-1412 (834) 身体介護4・夜朝	ヘルパー 花子		○	06:00-08:00	11-1412 (834) 身体介護4・夜朝	ヘルパー 花子		06:00-08:00	○
4		予防 太郎	61:訪予防	09:00-10:00	予防・身体介護	ヘルパー 花子		○	09:00-10:00	予防・身体介護	ヘルパー 花子		09:00-10:00	○
5	25(水)	予防 太郎	61:訪予防	09:00-10:00	予防・身体介護	ヘルパー 花子		○	09:00-10:00	予防・身体介護	ヘルパー 花子		09:00-10:00	○
6	28(土)	介護 太郎	11:訪介護	06:00-08:00	11-6112 (834) 身体3生活1・夜朝	ヘルパー 花子		○	06:00-08:00	11-6112 (834) 身体3生活1・夜朝	ヘルパー 花子		06:00-08:00	○

「介護」と「予防」を切り替えずに、ヘルパーのスケジュール管理を行うことができます

No.	サービス内容略称	回数	所要時間	単位数	サービス単位数	サービス合計	予定	実績	実績 (予定外)
1	11-1412 身体介護4・夜朝	2	4.00	834	1,668	サービス実日数	5	5	0
2	11-5212 身体2生活2・夜朝	1	2.00	710	710	合計回数	6	6	0
3	11-6112 身体3生活1・夜朝	1	2.00	834	834	合計時間	10:00	10:00	0:00
4	予防・身体介護	2	2.00			合計単位数 ※標準内単位数	3,212	3,212	0

帳票種類: 月間スケジュール予定表【カレンダー】

<メニュー>訪問介護->月間スケジュール->ヘルパースケジュール管理

・ヘルパー賃金計算画面

【訪問介護システム】ヘルパー賃金計算

運用グループ: Quickグループ

運用グループで管理を行います

ヘルパー: ヘルパー 花子

資金単価種別: 通常単価

資金計算期間: 平20.06.01~平20.06.30

サービス事業: (設定なし)

<資金合計> 10,300円

訪問別<基本> 訪問別<加算> 日別/月別<加算>

訪問別<基本> - 資金明細

No.	日付	実働開始	実働終了	所要時間 事業略称	介護内容	利用者	計 算	身体介護	生活援助
1	6/2(月)	06:00	08:00	2:00 11:訪介護 身体2生活2・夜朝	介護 太郎	演	1.00	1.00	
2	6/5(木)	06:00	08:00	2:00 11:訪介護 身体介護4・夜朝	介護 太郎	演	2.00		
3	6/17(火)	06:00	08:00	2:00 11:訪介護 身体介護4・夜朝	介護 太郎	演	2.00		
4	6/17(火)	09:00	10:00	1:00 61:訪予防 予防・身体介護	予防 太郎	演	1.00		
5	6/25(水)	09:00	10:00	1:00 61:訪予防 予防・身体介護	予防 太郎	演	1.00		
6	6/28(土)	06:00	08:00	2:00 11:訪介護 身体3生活1・夜朝	介護 太郎	演	1.30	0.30	

ヘルパーの活動実績を「介護」と「予防」でまとめて集計する事ができます

訪問別<基本> - 資金合計:		
	身体介護	生活援助
実働時間(時)	8:30	1:30
評価時間(時)	8:30	1:30
単価(円)	1,000	1,200
資金計(円)	8,500	1,800

<資金小計> 10,300円

明細書(詳細) 明細書(簡易) ヘルパースケジュール ヘルパー

<メニュー>訪問介護->活動実績集計->ヘルパー賃金計算

⑨訪問介護の賃金計算ロジックを変更

⇒【メニュー】 訪問介護+ -> サービス提供者 -> 運用グループ

ポイント!

ヘルパーの賃金計算ロジックを、以下のように変更いたしました。

なお【変更Ⅱ】については、仕様変更の影響度を考慮し、賃金計算ロジックを従来タイプ(Build27)へ戻せるようにしております。

【変更Ⅰ】 提供した介護内容とは別に、ヘルパーの実働内容を設定できるよう対応

【変更Ⅱ】 提供時間範囲外の実働時間を設定した場合でも賃金計算できるよう対応

・サービス予定/実績の設定画面

サービス予定/実績の設定

利用者名: [000002] 介護 太郎 様 変更 実施状況: 予定 実施 キャンセル 予定外

サービス提供日: 2008/07/07 サービス事業: 11: 訪問介護

予定

提供時間: 10:00 ~ 11:30 ※同一開始時間のサービスを譲り合うためのNOです

介護内容区分: 身体生活1

加減算項目: 3級訪問介護員 2人派遣 (強制)時間帯加算なし (強制)夜間・早朝加算 (強制)深夜加算

算定結果: サービス内容略称 単位数 割引率 割引後単位数
11・5111 身体2生活1 485

担当ヘルパー活動内容

運用ID/ヘルパーID	資格	担当区分	介護内容	実働時間	待機時間	移動時間	報告	健全
Quick/3		身生1	1000-1130					
ヘルパー 太郎								

実績

提供時間: 10:00 ~ 11:30

介護内容区分: 身体生活1

加減算項目: 3級訪問介護員 2人派遣 (強制)時間帯加算なし (強制)夜間・早朝加算 (強制)深夜加算

算定結果: サービス内容略称 単位数 割引率 割引後単位数
11・5111 身体2生活1 485

担当ヘルパー活動内容

運用ID/ヘルパーID	資格	担当区分	介護内容	実働時間	待機時間	移動時間	報告	健全
Quick/3		身生1	1000-1130					
ヘルパー 太郎								

上へ 下へ 新規 編集 複製 削除

<予定変更内容>

ヘルパー活動内容

運用グループ: Quick

ヘルパー: ヘルパー 太郎

担当区分: (設定しなし)

介護内容(賃金計算時に使用)

提供内容: 身体生活1

実働内容: 身体生活1 ※常に提供内容と連動する

実働時間(賃金計算時に使用)

提供時間: 1000-1130

実働時間: 10:00 ~ 11:30 ※常に提供時間と連動する

待機時間: : 移動時間: :

報告書作成有無

設定 閉じる

【変更Ⅰ】 提供した介護内容とは別に、ヘルパーの実働内容を設定できるよう対応

【変更Ⅱ】 提供時間範囲外の実働時間を設定した場合でも賃金計算できるよう対応

[変更1] 提供した介護内容とは別に、ヘルパーの実働内容を設定できるよう対応

(例) 身体2生活1のサービスを、時間帯を分けて2人のヘルパーで行なった場合

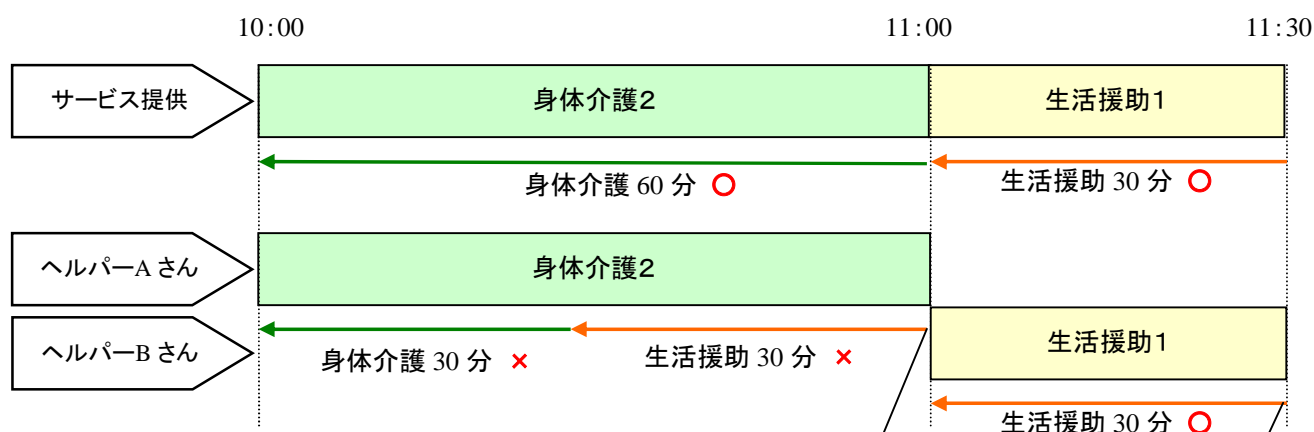
区分	提供時間	介護内容
サービス提供内容	10:00~11:30	身体2生活1
ヘルパーAさんの実働内容	10:00~11:00	身体介護2
ヘルパーBさんの実働内容	11:00~11:30	生活援助1



従来の賃金計算ロジックの場合

従来の賃金計算ロジックでは、サービス提供時間内の実働時間の終了または開始時間を、基準に算定を行っていた為、当該ケースのような時間帯を分けてヘルパー派遣を行なった場合、正常に賃金計算を行うことができませんでした。

(例) 終了時間を基準に設定



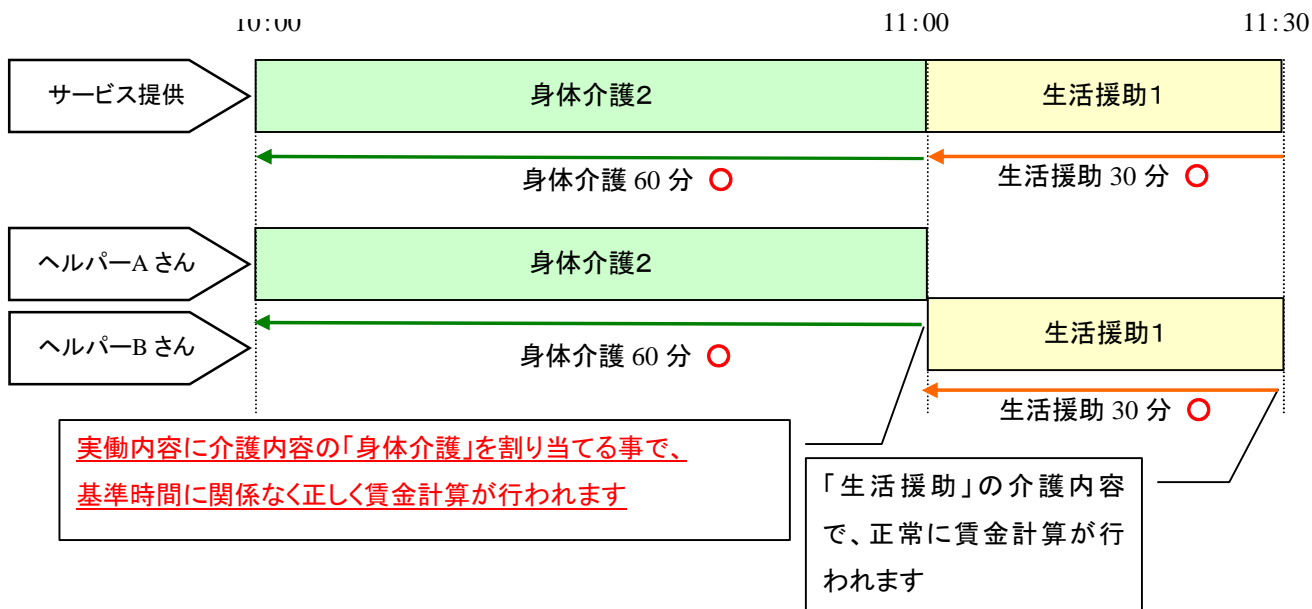
実働時間の終了時点を基準に算定が行われる為、身体介護の部分が「生活援助」で算定されてしまい、正常に賃金計算が行われない

「生活援助」の介護内容で、正常に賃金計算が行われます

新しい賃金計算ロジックの場合

新しい賃金計算ロジックでは、実働時間に「介護内容」を設定する事ができるようになり、当該ケースのような時間帯を分けてヘルパー派遣を行なった場合でも、正常に賃金計算を行うことができます。

(例) 終了時間を基準に設定



ヘルパー活動内容画面にて以下のように設定します
[実働内容] 身体介護
[実働時間] 10:00 ~ 11:00

ヘルパー活動内容設定画面

ヘルパー活動内容

運用グループ: Quick 賃金計算対象有無: 対象 対象外

ヘルパー: ヘルパー 太郎

担当区分: (設定なし)

介護内容(賃金計算時に使用)
提供内容: 身体生活1
実働内容: 身体介護 常に提供内容と連動する

実働時間(賃金計算時に使用)
提供時間: 10:00-11:30
実働時間: 10:00 ~ 11:00 常に提供時間と連動する

待機時間: : : 移動時間: : : 報告書作成有無

ヘルパー賃金計算画面

ヘルパー賃金計算

運用グループ: Quickグループ
ヘルパー: ヘルパー 太郎
賃金単価種別: 通常単価
賃金計算期間: 平2007.01~平2007.07

サービス事業 (設定なし) <賃金合計>

訪問別<基本> 訪問別<加算> 日別/月別<加算>

訪問別<基本>-賃金明細

No.	日付	実働開始	実働終了	所要時間	サービス事業略称	利用者	ヘルパー	介護内容	単価	身体介護	生活援助
1	7/7(月)	10:00	11:00	1:00	11:訪介護 身体2生活1	身体 介護 太郎	身体 介護 太郎	済	1:00		
2	7/8(火)	11:00	11:30	0:30	11:訪介護 身体2生活1	身体 介護 太郎	身体 介護 太郎	済	0:30		
3	7/9(水)	10:00	12:00	2:00	11:訪介護 身体2生活1	身生1 介護 太郎	身生1 介護 太郎	済	1:30	0:30	

訪問別<基本>-賃金合計

No.	日付	実働開始	実働終了	所要時間	サービス事業略称	利用者	ヘルパー	介護内容	単価	身体介護	生活援助
1	7/7(月)	10:00	11:00	1:00	11:訪介護 身体2生活1	身体 介護 太郎	身体 介護 太郎	済	1:00		
2	7/8(火)	11:00	11:30	0:30	11:訪介護 身体2生活1	身体 介護 太郎	身体 介護 太郎	済	0:30		
3	7/9(水)	10:00	12:00	2:00	11:訪介護 身体2生活1	身生1 介護 太郎	身生1 介護 太郎	済	1:30	0:30	

明細表示内容: 実働

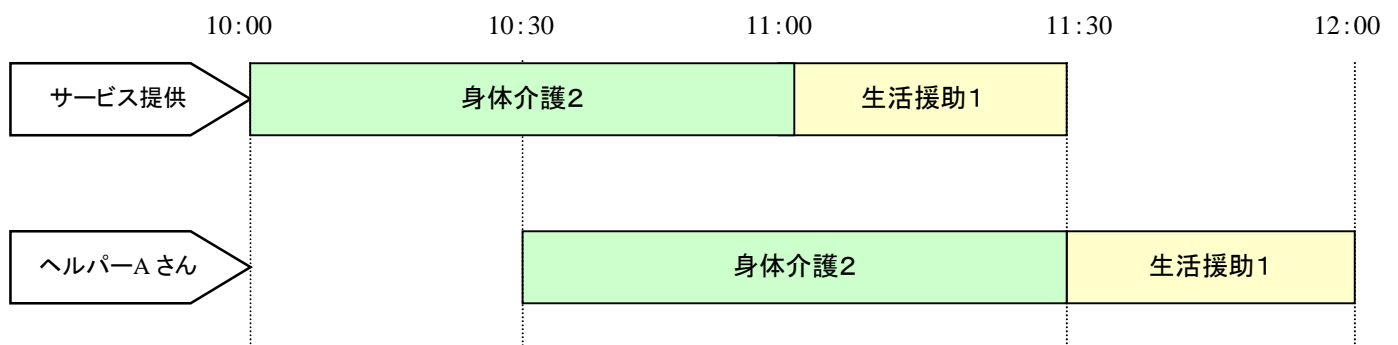
明細書(詳細) 明細書(簡易) ヘルパーズスケジュール ヘルパー賃金計算 賃金計算ログを出力 保存 閉じる

介護内容が「身体介護」で算定されます。

【変更II】 提供時間範囲外の実働時間を設定した場合でも賃金計算できるよう対応

(例) サービス提供時間の範囲外でヘルパー派遣が行なわれた場合

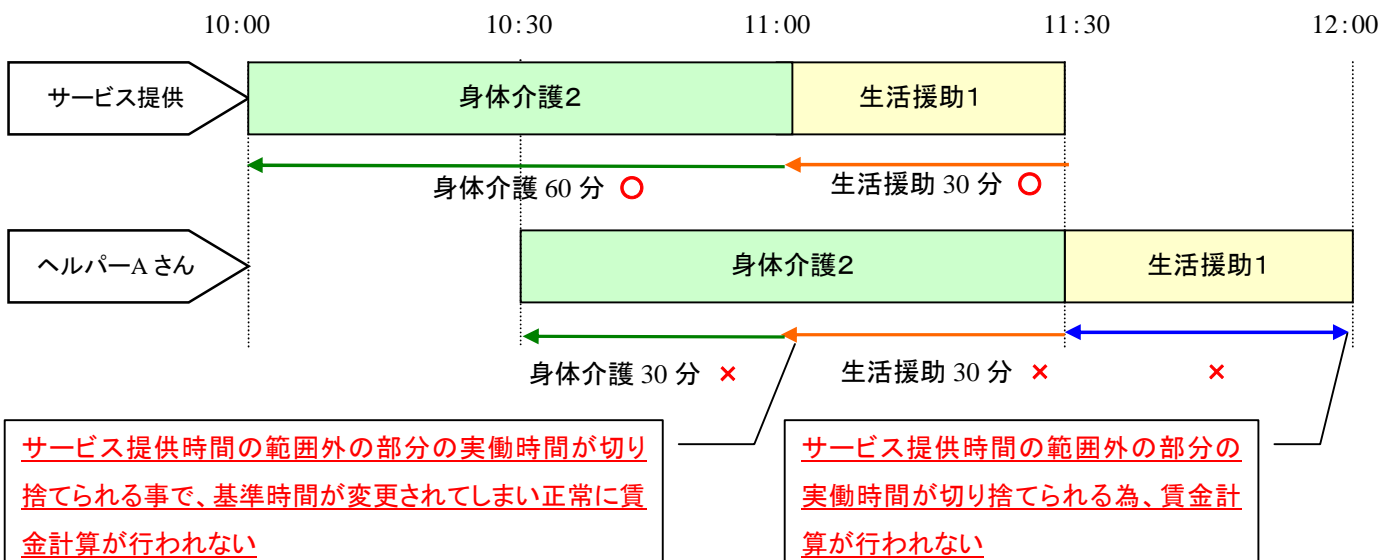
区分	提供時間	介護内容
サービス提供内容	10:00～11:30	身体2生活1
ヘルパーAさんの実働内容	10:30～12:00	身体2生活1



従来の賃金計算ロジックの場合

従来の賃金計算ロジックでは、サービス提供時間の範囲外の部分の実働時間が切り捨てられる為、当該ケースのようなヘルパー派遣を行なった場合、正常に賃金計算を行うことができませんでした。

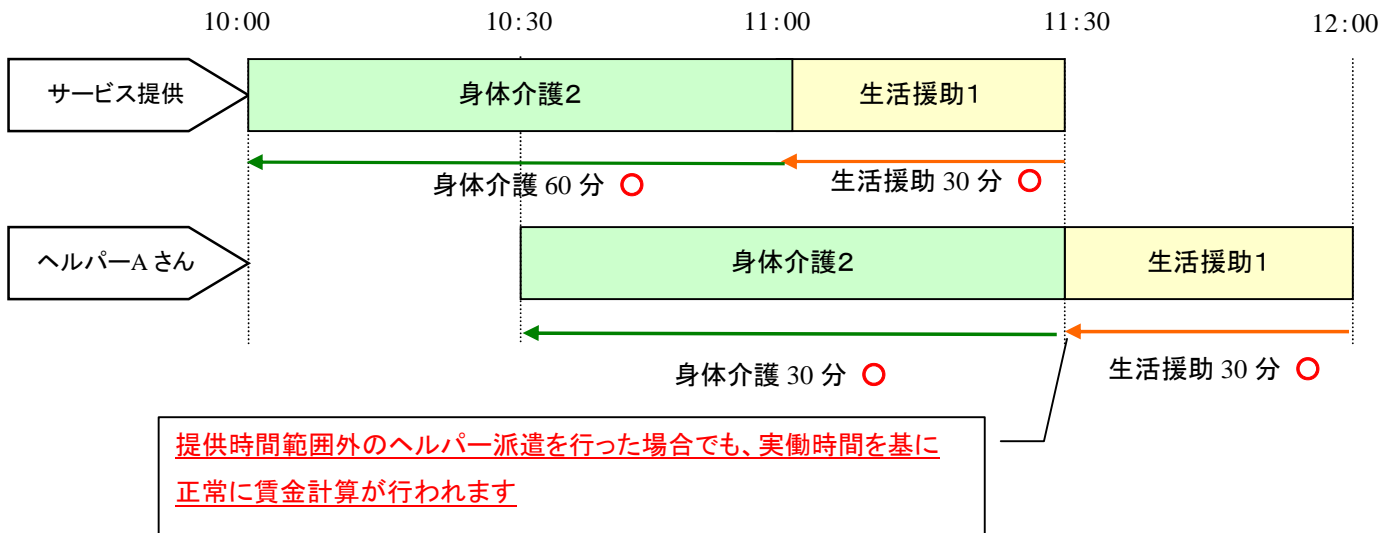
(例) 終了時間を基準に設定



新しい賃金計算ロジックの場合

新しい賃金計算ロジックでは、サービス提供時間の範囲外に設定された実働時間も算定が行われる為、提供時間の範囲外でヘルパー派遣を行なった場合でも、正常に賃金計算を行うことができます。
 ※時間帯で賃金が異なる場合は、ヘルパーの実働内容を基準に算定されます。

(例) 終了時間を基準に設定



ヘルパー活動内容画面にて以下のように設定します
 [実働時間] 10:30 ~ 12:00

ヘルパー活動内容設定画面

ヘルパー賃金計算画面

No.	日付	実働開始	実働終了	所要時間	サービス/事業略称	利用者/介護内容	ヘルパー/介護内容	利用者	計算	身体介護	生活援助
1	7/7(月)	10:30	12:00	1:30	11:訪問介護	身体2生活1	身生1 介護	太郎	済	1:00	0:30
2	7/8(火)	11:00	11:30	0:30	11:訪問介護	身体2生活1	身体 介護	太郎	済	0:30	
3	7/9(水)	10:00	12:00	2:00	11:訪問介護	身体2生活1	身生1 介護	太郎	済	1:30	0:30

10:30~12:00 で、賃金計算が行われます

互換性対応について

[変更Ⅱ]の賃金計算ロジックの変更に伴い、賃金計算内容に問題が発生した場合は、従来タイプ(Build27)に戻せるようにしております。なお問題が発生した場合は、最新の賃金計算ロジックにて修正させていただきますので、お手数をおかけ致しますが弊社ヘルプデスクまで、ご連絡頂きますようお願い申し上げます。

・ヘルパー賃金計算画面

サービス事業者: 訪問介護事業者

単価表: 賃金単価表 運用期間: 平成 20 年 6 月 1 日 クリア ~

締め日: 月末日 年 月 日 クリア

活動実績時間評価 各種加算項目 その他

ヘルパー賃金明細書(簡易)備考欄

互換性対応(通常は変更しないでください)

Build番号: 最新
B24
B27
最新

※Build番号B27が変更になった場合等で互換性を維持する為、最新

※当該設定項目は一時的に互換性維持のためのものであり、過去の互換バージョンは削除される可能性がありますので十分に注意ください。

<メニュー>訪問介護->その他->賃金単価表->その他

⑩業務状況モニタの追加

⇒【メニュー】施設サービス -> その他 -> 業務状況モニタ

ポイント!

アセスメントや施設サービス計画書等の作成業務を利用者一覧表示でモニタできる業務状況モニタを追加致しました。
 前回作成日付からの経過日数等を確認する事ができ、利用者一覧から各登録画面にリンクすることもできます。

・業務状況モニタ

【施設サービスシステム】- 業務状況モニタ

サービス事業: 33: 有料老人ホーム

担当者: (設定なし)

前月 平成20年07月* 次月

No.	利用者ID	利用者名	性別	要介護 認定区分	計画回数	計画作成日	経過日数 (※1)	評価表作成日	経過日数 (※2)
1	000002	介護 太郎	♂	要5	1回目	平20.06.18	41日	平20.07.29	0日
2	000007	施設 介護1	♂	要1	1回目	平20.07.09	20日	平20.07.29	0日
3	000006	施設 介護2	♂	要2	1回目	平20.07.12	17日		
4	000005	施設 介護3	♂	要3	1回目	平20.06.29	30日		
5	0000078	施設 介護3	♂	要1					
6	000004	施設 介護4	♂	要4					
7	000001	施設 介護5	♂	要5					
8	000008	施設 認定なし	♂						

表示内容: 介護計画書/総括表 (※1) 最後の計画作成日から経過した日数 (※2) 最後の評価表作成日から経過した日数

施設サービス計画書 | モニタリング総括表 | 利用者情報

閉じる

登録画面へ

登録画面へ

【施設サービスシステム】- 施設サービス計画書

利用者名: [000002] 介護 太郎 様

計画NO 計画作成日 計画作成者 同意有無 同意年月日 計画書1 計画書2 1課計画 通関計画 担当者会議 担当者照会

1	平20.07.01		無		平20.07.01				
---	-----------	--	---	--	-----------	--	--	--	--

施設サービス計画書

他の施設サービス計画書より複写

新規 編集 複写 削除

閉じる

【施設サービスシステム】- 業務状況モニタ

利用者名: 介護 太郎 生年月日: 昭和 15年 6月 17日

利用者ID: 000002 性別: ♂男 ○女

個人情報 | 介護保険情報 | 利用状況 | 介護報酬算定情報 | 疾病状況/その他 | 介護予防

郵便番号: 地域: 指定なし

住所: 移動手段: 指定なし

URL: 利用者負担可能上限額: 円

電話番号: 携帯番号: 氏名

利用者基本情報

上へ 下へ 新規 編集 複写 削除

利用者基本情報 プレビュー 保存 閉じる

施設サービス計画書

利用者基本情報

①拡張カテゴリに初期マスタ(利用者負担額集計)を追加

⇒【メニュー】利用者請求 -> 利用料金集計 -> 利用料金集計

ポイント!

拡張カテゴリの初期マスタに「利用者負担額集計」を追加致しました。初期マスタを取り込むことで、拡張カテゴリが自動設定され、利用料金集計表にて介護費(利用者一部負担金)等を集計する事ができます。

※拡張カテゴリとは、利用者請求システムで一部負担金等の明細データを持たないものに対しても自由にグループ化し集計することができる汎用的なカテゴリです。

※Build26にて対応した「拡張カテゴリ」の設定例を後日公開予定とさせて頂いておりましたが、拡張カテゴリに「利用者負担額集計」の初期マスタを取り込む機能で対応させて頂きます。

・初期マスタの取りこみ

カテゴリにて「利用者負担額集計」を選択し、「初期データを取り込む」を押下する事で、「介護費(一部負担金)」と「介護費(全額負担分)」に該当する明細内容が自動でグループ名に関連付けられます。

【メニュー】基本情報->事業者->利用料金/運用設定->拡張カテゴリ

・(例)通所介護サービス

初期マスタの取り込みを行うと、介護費(一部負担金)に、以下明細内容が自動で関連付けされ、利用者の一部負担金が算定されます。

- ①介護サービス費(保険内) ②限度額超過分 ③地域加算
- ④介護給付額 ⑤公費給付額

・利用料金集計表印刷画面

i.集計カテゴリにて「カテゴリ」を選択します

ii.カテゴリにて「利用者負担額集計」を選択します

iii.印刷します

【メニュー】利用者請求->利用料金集計->利用料金集計一覧印刷

・利用料金集計表

介護費の一部負担金が集計されます

No	利用者ID 利用者名	要介護 状態区分	提供年月	介護費(一部 負担金)	介護費(全額 負担金)	その他料金①	その他料金②	その他料金③	合計
1	000002 介護 太郎	要介護5	平20.6	11: 5,300	7,292	1,000	2,000	3,000	18,592
総合計				11: 5,300	7,292	1,000	2,000	3,000	18,592

⑫前回ご利用内容を複写する機能を追加

⇒【メニュー】利用者請求 -> 利用料金集計 -> 利用料金集計->集計データを編集

ポイント!

前回利用料金集計を行った「ご利用内容」を明細単位で当月に複写する機能を追加いたしました。
 前回集計した「ご利用内容」を明細単位で当月に取り込むことができます。

・ご利用内容(編集)

利用料金集計画面の「ご利用内容」タブ。ボタン「前回ご利用内容を複写」が強調されている。

複写対象となる、ご利用内容は、「前月」ではなく「**前回**」作成したご利用内容となります

ii. 当月に複写する「ご利用内容」にチェックします

No.	利用料金項目	単価	数量	保険内	保険外	計	(内税額)	医療費控除
4	給湯料	1,575	325L		511	511		
5	朝食	500	10食		5,000	5,000		
6	昼食	650	10食		6,500	6,500		
7	夕食	700	9食		6,300	6,300		
8	33-1111 特定施設生活介護1	5,490	31	170,190		170,190		
9	[地域加算]			10,211		10,211		
10	[介護給付額]			162,960		162,960		
11	ファティマ薬局				1,000	1,000		<input type="checkbox"/>
12	ファティマクリニック				1,000	1,000		<input type="checkbox"/>
13	乾燥機代				500	500		<input checked="" type="checkbox"/>
14	乾燥機代				500	500		<input checked="" type="checkbox"/>

「ご利用内容」タブ。選択された項目（ファティマ薬局、ファティマクリニック、乾燥機代）がリストアップされている。

iii. 「選択」を押下します

⑬請求書一覧印刷に「利用者別請求入金一覧」帳票を追加

⇒【メニュー】利用者請求 -> 請求/入金 -> 請求書一覧印刷

ポイント!

請求書一覧印刷に「利用者別請求入金一覧」帳票を追加致しました。

当該締め対象月における請求・入金情報を、利用者ごとにサービス種類別で一覧表示することができます。

・請求書一覧印刷

利用者別請求入金一覧 1 / 1 頁

請求グループ: 有料老人ホーム 締め対象月: 平成20年8月 並び順: フリガナ

事業所名: (設定しない) サービス種類名: (設定しない)

No	利用者	区分	請求書NO/入金NO	提供年月	前回請求額	今回入金額	今回請求額	事業所	サービス種類	備考
1	施設 介護1	請求	2008-08-000002	平20.06			60,474	有料老人ホーム	33:特定施設	
		入金	2008-08-000001	平20.06		242,428		有料老人ホーム	33:特定施設	
		合計					302,902			
2	施設 介護2	入金	2008-08-000001	平20.06		242,374		有料老人ホーム	33:特定施設	平20.08.01 現金
		請求	2008-08-000003	平20.07			258,310	有料老人ホーム	33:特定施設	
		合計				242,374	258,310			
3	施設 介護3	入金	2008-08-000002	平20.06		212,638		有料老人ホーム	33:特定施設	平20.08.01 現金
		請求	2008-08-000004	平20.07			232,486	有料老人ホーム	33:特定施設	
		合計				212,638	232,486			
4	施設 介護4	入金	2008-08-000003	平20.06		219,846		有料老人ホーム	33:特定施設	平20.08.01 現金
		請求	2008-08-000005	平20.07			246,941	有料老人ホーム	33:特定施設	
		合計								
5	施設 介護5	入金	2008-08-000004	平20.06						
		請求	2008-08-000001	平20.07						
		合計								
6	施設 月途中	入金	2008-08-000005	平20.06						
		請求	2008-08-000006	平20.07						
		合計								
						130,396	155,315			
7	施設 認定心丸	入金	2008-08-000006	平20.06		190,019		有料老人ホーム	33:特定施設	平20.08.01 現金
		請求	2008-08-000007	平20.07			204,762	有料老人ホーム	33:特定施設	
		合計				190,019	204,762			
		総合計								
						1,200,515	1,635,116			

入金	2008-08-000007	平20.06	239,574
請求	2008-08-000003	平20.07	258,310
合計			239,574
			258,310

入金と請求の情報が利用者別に記載されます

利用者別請求入金一覧

⑭連絡事項の一括設定画面を追加

⇒【メニュー】利用者請求 -> 請求/入金 -> 請求書/領収書発行

ポイント!

請求書/領収書発行時に連絡事項の一括設定が行なえるようになりました。

連絡事項に「振込み日」等の毎月変更する内容を記載している場合、簡易に設定変更する事ができるようになりました。

・請求書/領収書発行

i.請求書発行を押下します

ii.連絡事項設定区分を選択します

iii.上書きする連絡事項を入力します

[注意]
「発行日」や「発行日の表示設定」が当画面へ移動されています。

連絡事項を「定型文管理」する事ができます
※通常の定型文とは異なり、取込時に前回内容が上書きされます

・連絡事項設定区分

NO	区分	内容
①	帳票パターンを優先	個別指定以外は帳票パターンの連絡事項が適用されます。
②	強制上書き(全て)	当該画面で設定した連絡事項が、連絡事項を個別指定している請求書等にも適用されます。
③	強制上書き(個別指定は除く)	当該画面で設定した連絡事項が、連絡事項を個別指定している請求書等以外に適用されます。

⑮請求書記載項目の追加

⇒【メニュー】利用者請求 -> 請求/入金 -> 請求書/領収書作成

ポイント!

請求書に記載する項目を追加致しました。追加される記載内容については、次ページの帳票サンプルをご参照下さい。

・請求グループの設定

【メニュー】利用者請求->その他->請求グループ->運用設定->運用設定/帳票パターン>帳票パターン

・設定内容

NO	区分	内容									
I	集計期間表示区分	請求書の集計期間記載欄の表示有無を設定します。 ※集計期間表示区分の設定は、利用料金項目の「集計期間」と連動しています。詳細は、【ピックアップ NO⑤利用料金項目に集計期間を変更できる「集計区分」を追加】をご参照下さい。									
II	集計期間表示方法	集計期間の記載方法を以下のように変更します。 (例)集計期間が7月1日~7月31日の場合 <table border="1"> <thead> <tr> <th>NO</th> <th>表示設定</th> <th>記載内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>集計期間が1日~末日までの場合、「〇月分」と表示する</td> <td>7月分</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>集計期間が1日~末日までの場合、「〇/〇~〇/〇」と表示する</td> <td>7/1~7/31</td> </tr> </tbody> </table>	NO	表示設定	記載内容	①	集計期間が1日~末日までの場合、「〇月分」と表示する	7月分	②	集計期間が1日~末日までの場合、「〇/〇~〇/〇」と表示する	7/1~7/31
NO	表示設定	記載内容									
①	集計期間が1日~末日までの場合、「〇月分」と表示する	7月分									
②	集計期間が1日~末日までの場合、「〇/〇~〇/〇」と表示する	7/1~7/31									
III	内税額表示区分	請求書に記載される内税額関連項目の表示有無を設定します。									

◇請求書サンプル

〒

請求書

1 / 2

施設 介護 2 様

ご利用者名	施設 介護2 様 (ID: 000006)
請求書NO	2008-07-00002

今回ご請求額

243,274 円

(内税額: 396円)

<<サービス種別別ご利用内容>>

サービス事業	事業所番号
33 有料老人ホーム (特定施設入居者生活介護)	3333333333
111111 福岡市	11111111

I. 集計期間表示区分

II. 集計期間表示方法

III. 内税額表示区分

<<ご利用内容内訳>>

ご利用内容	期間/日	単価	数	金額	内税額
管理費	8月分			11,000 円	
電話代 (基本料金)	7月分	1,500 円	1	1,500 円	
電話代 (通話料金)	6/21~7/20	100 円	5	500 円	
湯料 ※3	"	1,575 円	377L	595 円	内税額: 28円
給湯料 ※3	"	1,575 円	2200L	3,465 円	内税額: 165円
朝食	"	500 円	27食	13,500 円	
昼食	"	650 円	26食	16,900 円	
夕食	"	700 円	25食	17,500 円	
(基本サービス費 小計)				(171,950円)	
特定施設生活介護2	6月分	6,160 円	30日	184,800 円	
[地域加算]	"			11,088 円	10.60円/単位
[介護給付額]	"			-176,289 円	介護給付率: 90%
(介護サービス費 小計)				(19,589円)	
締め対象月 (月/按分)	7月分	3,000 円	1	3,000 円	
締め対象月+1 (月/按分)	8月分	3,000 円	1	3,000 円	
締め対象月+2 (月/按分)	9月分	3,000 円	1	3,000 円	
締め対象月+2 (月)	"	3,000 円	1	3,000 円	
締め対象月+1 (日)	8月分	100 円	31	3,100 円	
サービス提供年月	6月分	100 円	30	3,000 円	
切り上げ ※3	"	145.3 円	10	1,453 円	内税額: 105円
提供年月単独	"	100 円	8	800 円	
提供年月付帯	"	100 円	7	700 円	
締め日単独	6/21~7/20	100 円	9	900 円	
(その他 小計)				(21,953円)	
コンビニ薬局	8月分			2,130 円	
権原クリニック	7月分			1,690 円	
クリーニング代	8月分			4,777 円	

III. 内税額表示区分

※1 医療費控除対象 ※2 法人軽減対象 ※3 無税対象 ※4 高額介護サービス費対象

事業者名	有料老人ホーム	連絡事項
------	---------	------

⑩口座振替処理の統合

⇒【メニュー】利用者請求 -> 請求／入金 -> 口座振替

ポイント！

従来システムでは、口座振替処理を請求書の発行単位である「請求グループ」で行っていた為、複数の請求グループをまとめて口座振替処理ができませんでした。そこで今回、複数の「請求グループ」を「口座振替グループ」で、まとめる事が出来るようにし、口座振替処理を一括で行なえるように対応致しました。

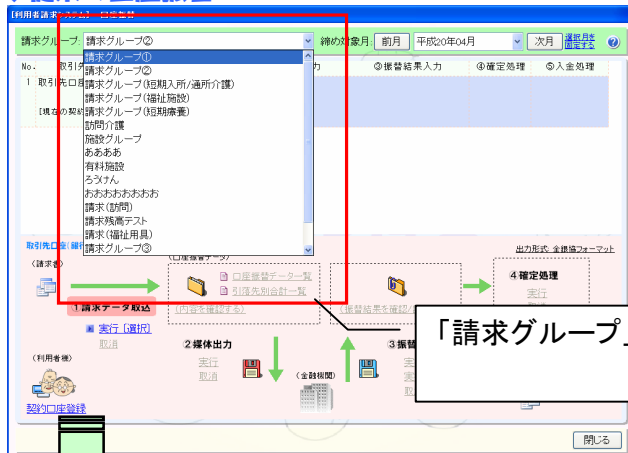
i) 詳細については、以下の資料をご参照下さい。

⇒別途資料「[運用マニュアル／口座振替 \(Build28 対応\).pdf](#)」をご参照下さい。

ii) 口座振替グループの統合を行なう場合は、以下の資料をご参照下さい。

⇒別途資料「[補足資料／口座振替グループ統合手順.pdf](#)」をご参照下さい。

◇従来の口座振替



◇新しい口座振替

